

インタラクティブ大学院教育プログラム

高分子合成化学 青島研究室 M2 西崎 拓志

学会名：第5回高分子ナノテクノロジー研究会、nano tech 2007

場所：東京ビックサイト

期間：2007年2月22日(木)

東京・東京ビックサイトで、2007年2月22日に開かれた、第5回高分子ナノテクノロジー研究会および nano tech 2007 の2つの学会に、インタラクティブ大学院教育プログラムを利用して参加させていただきました。

高分子ナノテクノロジー研究会では、「高分子ナノ構造体の物性とその応用」と題して、高分子ナノ構造体により発現する特徴的な物性を利用して、実用化の研究をされている研究者の方々の講演を聞くことができました。最前線のゲル研究をわかりやすく説明してくださり、ゲルに関してあまり知識がない私でも非常に興味をもてました。

また、nano tech 2007 では、多くの企業や大学、研究機関がブースを設け、それぞれの研究について、担当の方が親切丁寧に説明してくださいました。最新のナノテクノロジーを用いた材料を実際に見学、体感できる機会もあり、ナノテクノロジーの重要性を肌で感じとることができました。とりわけ、多くの企業のブースを見学することで、ナノテクノロジーの重要性はもちろんのこと、現在、企業に対してどのようなニーズがあるのか、またこれから企業の研究対象はどういった方向に向かっていくのかといったことが理解できました。

このような最先端の研究を直接、聞くことができた経験は非常に貴重であり、これらの機会を与えてくださったインタラクティブプログラム、ならびにインタラクティブ大学院教育スタッフの皆様にご心より感謝致します。こういった機会をぜひとも後輩たちにも経験していただきたいと思います。